

新規事業採択時評価結果（令和5年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課  
担当課長名：長谷川 朋弘

事業の概要

事業名	一般国道208号 荒尾道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 九州地方整備局
起終点	熊本県荒尾市荒尾～熊本県荒尾市大島	延長	2.2km		
<p><b>事業概要</b></p> <p>有明海沿岸道路は、熊本市を起点として、長洲町、荒尾市、大牟田市、みやま市、柳川市、大川市、佐賀市、小城市、白石町、鹿島市に至る高規格道路である。このうち荒尾道路は、熊本県荒尾市荒尾～熊本県荒尾市大島に至る延長約2.2kmの自動車専用道路である。</p>					
<p><b>事業の目的、必要性</b></p> <p>当該区間の整備により、現道における交通混雑の緩和、洪水・高潮時の避難等においても機能する信頼性の高い道路ネットワーク確保による住民の安心・安全と国土強靱化の実現、周辺観光施設へのアクセス性向上による滞在時間の確保といった観光振興など地域活性化の支援が期待される。</p>					
全体事業費	約230億円	計画交通量	約10,500台/日		
<p><b>事業概要図</b></p> <p>凡例          ■■■ 開通区間          ■■■■ 事業中区間          ■■■■■ 対象区間          □□□□ 未事業化区間 (都市計画決定済)          □□□□□ 未事業化区間</p>					

事業評価結果

費用対便益分析	B/C	2.0 (0.7)	総費用 5,844億円 事業費: 5,339億円 維持管理費: 374億円 更新費: 131億円	総便益 11,527億円 走行時間短縮便益: 9,285億円 走行経費減少便益: 1,805億円 交通事故減少便益: 438億円	基準年 令和4年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.8 (交通量 -10%)	B/C=2.2 (交通量 +10%)	
		事業費変動	B/C=1.9 (事業費変動 +10%)	B/C=2.0 (事業費変動 -10%)	
	事業期間変動	B/C=1.9 (事業期間変動 +20%)	B/C=2.1 (事業期間変動 -20%)		
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価	根拠		
	渋滞対策	◎	・現道の交通量転換により、交通混雑が緩和し、円滑で安全な道路ネットワークが構築される。 ○主要渋滞箇所 [全て回避] 【現況】3箇所 ⇒ 【整備後】0箇所 ○交通量 【現況】16,640台/日 混雑度1.13 ⇒ 【整備後】13,300台/日 混雑度0.90		
	事故対策	◎	・現道の交通量転換により、事故危険区間が回避され、円滑で安全な道路ネットワークが構築される。 ○事故危険区間 [全て回避] 【現況】12箇所 ⇒ 【整備後】0箇所		
	歩行空間	-	注目すべき影響はない。		
	住民生活	-	注目すべき影響はない。		
	地域経済	◎	・速達性の向上により、観光振興などを通じた地域活性化を促進。 ○有明海沿岸道路 (三池港IC)～グリーンランド間の所要時間 【現況】19分 ⇒ 【整備後】12分 (約7分短縮) ○有明海沿岸道路 (三池港IC)～荒尾干潟間の所要時間 【現況】11分 ⇒ 【整備後】6分 (約5分短縮)		
	災害	◎	・冠水頻発箇所や土砂災害危険箇所を回避し、洪水・高潮時の避難等においても機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築。 ○冠水頻発箇所及び土砂災害危険箇所 [全て回避] 【現況】2箇所 ⇒ 【整備後】0箇所		
環境	-	注目すべき影響はない。			
地域社会	-	注目すべき影響はない。			
事業実施環境	○	・計画段階評価手続き完了 (平成26年6月)、都市計画決定手続き完了 (平成27年4月) ・熊本県知事より「荒尾市～長洲町」間の早期事業化の要望を受けている。			

採択の理由

費用便益比が2.0 (0.7) と便益が費用を上回っており、また、計画段階評価、都市計画決定の手続きを完了しており、事業採択の前提条件が確認できる。  
 また、当該区間の整備により、交通混雑の緩和や、災害時における道路機能の確保、観光振興といった地域活性化の支援などが期待でき、事業の必要性・効果は高いと判断される。  
 以上により、本事業は令和5年度新規事業箇所として妥当であると考えられる。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※B/Cの上段の値は長洲町～佐賀市を対象とした場合、下段 ( ) 書きの値は事業化区間を対象とした場合の費用便益分析結果。

関係する地方公共団体等の意見

【熊本県知事】  
 新規事業採択時評価に係る「一般国道208号 荒尾道路」事業の予算化について、同意しますとともに、感謝申し上げます。  
 有明海沿岸道路は、熊本県、福岡県、佐賀県の主要都市を結ぶ重要な経済、物流路線であり、有明海沿岸地域の広域的な経済交流圏を創出するとともに、九州の循環型高速交通ネットワークの形成に不可欠な高規格道路です。  
 「平成28年熊本地震」では、有明海沿岸地域でも国道208号や国道501号に交通が集中し、人や物資の輸送及び緊急車両等の通行に大きな影響が生じ、災害発生時の代替機能強化の観点からも本道路の整備が重要であると再認識したところです。さらに、万田坑や宮原坑、三重津海軍所跡などの世界遺産とともに、ラムサール条約湿地登録の荒尾干潟や柳川川下りなど多くの観光資源を有する沿線地域を繋ぐ広域観光ルートの形成や、熊本港、長洲港、三池港、九州佐賀国際空港などへのアクセス改善による物流の利便性の大幅な向上により、企業進出や沿線経済の発展が期待され、有明海沿岸道路の重要性は益々高まっています。  
 本県といたしましては、事業が円滑に推進されるよう、用地取得や土地区画整理事業との調整・協力・事業を進める上で必要となる関係者協議の支援、周辺住民の理解の醸成、さらに、都市計画の変更が生じる場合の必要な手続きなど、地元自治体と連携しながら取り組んでまいります。つきましては、「一般国道208号 荒尾道路」の令和5年度新規事業としての予算化に特段のご配慮をお願いします。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化は妥当である。

事業採択の前提条件

・費用対便益 : 便益が費用を上回っている。  
 ・手続きの完了 : 計画段階評価手続き完了 (平成26年6月)、都市計画決定手続き完了 (平成27年4月)

# 新規事業採択時評価結果（令和5年度新規事業化箇所）

## 事業評価結果（防災機能）

事業の必要性	
<p>当該区間の整備により、現道における交通混雑の緩和、洪水・高潮時の避難等においても機能する信頼性の高い道路ネットワーク確保による住民の安心・安全と国土強靱化の実現、周辺観光施設へのアクセス性向上による滞在時間の確保といった観光振興など地域活性化の支援が期待される。</p>	
評価項目	地域の課題
住民生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>国道208号は、主要渋滞箇所や事故危険区間が存在。混雑度は全区間で1.0を超過。慢性的に速度20km/h以下の区間も存在。また、平均死傷事故件数は県内国道平均の約3.5倍。</li> </ul>
防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>有明海に面する沿線地域は、高潮や洪水の被害を受ける頻度が高い。国道208号は冠水による通行止めが頻発している上、土砂災害による道路寸断の恐れもあり。</li> </ul>
地域経済 地域社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象区間周辺は九州最大級の遊園地、世界遺産の万田坑、荒尾干潟、荒尾市ウェルネス拠点施設（仮称）など多くの観光・レジャー拠点が点在。</li> <li>一方、拠点を結ぶ高速ネットワークがなく、休日には観光目的等の交通に限られたアクセス路に集中するなど観光振興による地域活性化を阻害。</li> </ul>
<p>関連する計画</p> <p>※第6次荒尾市総合計画(R2.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有明海沿岸道路の三池港ICを利用すれば、佐賀方面へのアクセスが良い環境にある。有明海沿岸道路の延伸により、本市へのインターチェンジ整備が実現すれば、更なる利便性向上が期待される。</li> <li>令和元年度にはまちづくりのコンセプトや導入機能のイメージ、機能連携の方針などを定めた「南新地地区ウェルネス拠点基本構想」を策定している。JR荒尾駅や地域高規格道路である有明海沿岸道路との近接性や、有明海・荒尾干潟の眺望などを活かしながら、心豊かに健康で快適な暮らしを提供できるようなまちづくりを推進していく。</li> </ul> <p>※熊本県国土強靱化地域計画(R3.12)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大規模災害時、道路の寸断や渋滞の発生により救助・救急、医療活動のためのエネルギー供給が停止するおそれがあるため、本県と九州各県を結ぶ幹線道路ネットワークの充実・強化、県内各地域を結ぶ道路網の確保が必要である。</li> <li>九州の縦軸・横軸の多重性（リダンダンシー）確保と循環型高速ネットワークのミッシングリンク（高規格道路網等において未整備により途中で途切れている区間）解消を図るため、中九州横断道路、九州中央自動車道、南九州西回り自動車道、有明海沿岸道路、熊本天草幹線道路等の幹線道路ネットワークの整備を進める。</li> </ul> <p>※ようこそくまもと観光立県推進計画(2021年度～2023年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当該地域は、九州最大のマーケットである福岡に隣接しています。平成27年(2015年)7月に世界文化遺産に登録された「万田坑」や、日本遺産を訪れる旅行者の動態（発地・性別等）に合わせ、周辺観光資源と連携のうえ、面での集客を図り、滞在性や拠点性を強化します。</li> <li>さらに、県内をリードする食糧生産地帯でもあることから、例えば、短期の農作業と組み合わせた観光商品による誘客、菊鹿ワインを軸とした宿泊連動型商品による誘客等、農業や加工業等と連携した地域経済波及効果の高い観光地域づくりを進めます。</li> </ul> <p>＜具体的な取り組み：幹線道路ネットワークの整備＞ 九州中央自動車道、南九州西回り自動車道、中九州横断道路、熊本天草幹線道路、有明海沿岸道路</p>	

事業の有効性								
<ul style="list-style-type: none"> <li>当該事業の実施により、主要拠点間のリンクの評価はCランクのままであるものの、脆弱度が0.55から0.38に改善するとともに、災害時の防災機能が強化される。</li> <li>また、本事業により、現道の交通混雑緩和が期待されるとともに、速達性向上による観光振興といった地域活性化を支援する。また、冠水頻発箇所や土砂災害危険箇所の回避による洪水・高潮時の避難等においても機能する信頼性の高い道路ネットワークを形成するなど、有効性の高い事業と評価する。</li> </ul>								
道路ネットワーク の 防災機能	主な区間	改善ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱度の 変化量	改善度		評価
			整備前	整備後		通常時	災害時	
	三池港 長洲町	3 〔1〕	0.55 (C) 〔1.00〕 (D)	0.38 (C) 〔1.00〕 (D)	▲2.5 〔▲0.9〕	0.08 〔0.07〕	0.25 〔0.00〕	○

事業の効率性
<ul style="list-style-type: none"> <li>手続きの完了：計画段階評価手続き完了（H26.6）、都市計画手続き完了（H27.4）</li> </ul>

※道路ネットワークの防災機能の上段の値は長洲町～佐賀市を対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の防災機能評価結果